

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和4年3月1日(2022.3.1)

【国際公開番号】WO2018/085217

【公表番号】特表2020-503394(P2020-503394A)

【公表日】令和2年1月30日(2020.1.30)

【出願番号】特願2019-522804(P2019-522804)

【国際特許分類】

C 0 9 D 1 3 3 / 0 2 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

10

C 0 9 D 1 8 3 / 1 2 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

C 0 9 D 1 3 3 / 2 4 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

C 0 9 K 3 / 1 8 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

B 0 5 D 1 / 2 8 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

B 0 5 D 1 / 0 2 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

B 0 5 D 1 / 1 8 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

B 0 5 D 7 / 2 4 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

B 0 5 D 5 / 0 0 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

B 3 2 B 2 7 / 1 8 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

【 F I 】

20

C 0 9 D 1 3 3 / 0 2

C 0 9 D 1 8 3 / 1 2

C 0 9 D 1 3 3 / 2 4

C 0 9 K 3 / 1 8 1 0 1

C 0 9 K 3 / 1 8 1 0 4

B 0 5 D 1 / 2 8

B 0 5 D 1 / 0 2 Z

B 0 5 D 1 / 1 8

B 0 5 D 7 / 2 4 3 0 2 R

B 0 5 D 7 / 2 4 3 0 2 Y

30

B 0 5 D 7 / 2 4 3 0 2 P

B 0 5 D 7 / 2 4 3 0 3 E

B 0 5 D 7 / 2 4 3 0 2 X

B 0 5 D 7 / 2 4 3 0 2 V

B 0 5 D 5 / 0 0 Z

B 3 2 B 2 7 / 1 8 Z

【誤訳訂正書】

【提出日】令和4年2月17日(2022.2.17)

【誤訳訂正1】

40

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コーティングの総固形分重量を基準にして、10～100重量%の非フッ素化合物混合物を含むコーティング組成物であって、

前記非フッ素化合物混合物が、

b) シリコンポリエーテル、シリコンポリエーテルカルボキシレートのアルカリ金属

50





e が、1 ~ 40 の整数である、物品。

【請求項 9】

前記基材が、織物、カーペット、無釉コンクリート、煉瓦、タイル、花崗岩、石灰岩、大理石、グラウト、モルタル、彫像、モニュメント、木材、複合材料、テラゾ、石膏板、壁若しくは天井パネル、金属、ガラス、プロパント粒子、又はそれらの組み合わせである、請求項 8 に記載の物品。

【請求項 10】

環状又は非環状ポリオールの脂肪酸エステル、ポリカルボン酸の脂肪酸エステル、疎水性非フッ素化カチオン性アクリルポリマー、疎水性非フッ素化アニオン性アクリルポリマー、疎水性非フッ素化非イオン性アクリルポリマー、部分フッ素化ウレタン、疎水性非フッ素化ウレタン、部分フッ素化カチオン性アクリルポリマー若しくはコポリマー、部分フッ素化非イオン性アクリルポリマー若しくはコポリマー、部分フッ素化アクリルアミドポリマー若しくはコポリマー、フッ素化又は非フッ素化ホスフェート、フッ素化エトキシレート、フッ素化又は非フッ素化オルガノシラン、シリコン、ワックス、及びそれらの混合物からなる群から選択される疎水性表面効果剤を更に含む、請求項 8 又は 9 に記載の物品。

10

【請求項 11】

前記コーティング組成物の総固形分重量を基準にして、10 ~ 90 重量%の前記非フッ素化合物混合物と10 ~ 90 重量%の前記表面効果剤とを含む、請求項 10 に記載の物品。

20

【請求項 12】

前記コーティング組成物の総固形分重量を基準にして、30 ~ 100 重量%の前記非フッ素化合物混合物を含む、請求項 8 ~ 11 のいずれか一項に記載の物品。

【請求項 13】

前記非フッ素化合物混合物が約 7 ~ 約 10 . 5 の pH を有する、請求項 8 ~ 12 のいずれか一項に記載の物品。

【請求項 14】

基材に表面効果を提供する方法であって、基材をコーティング組成物と接触させることを含み、前記コーティング組成物が、コーティングの総固形分重量を基準にして、10 ~ 100 重量%の非フッ素化合物混合物を含み、

30

前記非フッ素化合物混合物が、

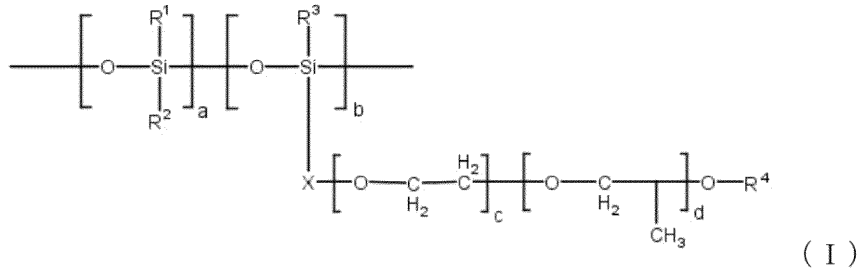
b) シリコンポリエーテル、シリコンポリエーテルカルボキシレートのアルカリ金属塩、シリコンポリエーテルカルボキシレートのアンモニウム化合物塩、シリコンポリエーテルカルボキシレートのアミン塩、又はそれらの混合物からの少なくとも 1 つの化合物と、

c) 加水分解された - オレフィン / 無水マレイン酸コポリマーのアルカリ金属塩、加水分解された - オレフィン / 無水マレイン酸コポリマーのアンモニウム化合物塩、加水分解された - オレフィン / 無水マレイン酸コポリマーのアミン塩、エステル化された - オレフィン / 無水マレイン酸コポリマーのアルカリ金属塩、エステル化された - オレフィン / 無水マレイン酸コポリマーのアンモニウム化合物若しくはアミン塩、又はそれらの混合物からの少なくとも 1 つの化合物とを含み、

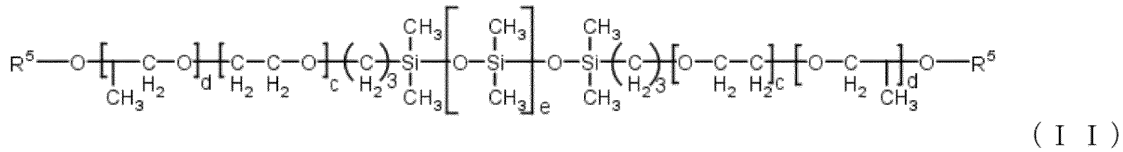
40

前記 b からの少なくとも 1 つの化合物が、式 ( I ) 又は ( I I ) からのものであり、

## 【化 3】



10



式中、

R<sup>1</sup>、R<sup>2</sup>、及びR<sup>3</sup>が独立して、C<sub>1</sub>～C<sub>8</sub>アルキル基であり、Xが、直鎖又は分枝鎖のC<sub>1</sub>～C<sub>4</sub>アルキレン基であり、R<sup>4</sup>が、独立して、H又は-C(O)-Y-C(O)O-M<sup>+</sup>であり、Yが、直鎖又は分枝鎖、飽和又は不飽和のC<sub>1</sub>～C<sub>5</sub>アルキレン基であり、Mが、独立して、H、アルカリ金属、NH<sub>4</sub><sup>+</sup>、ジアルキルアンモニウムカチオン、又はアミンカチオンであり、

a及びbが、独立して、1～40の整数であるが、a+bは少なくとも2の整数であり、

c及びdは、独立して、0～20の整数であるが、c+dは少なくとも1の整数であり、

R<sup>5</sup>が、H、C<sub>1</sub>～C<sub>5</sub>アルキル基、又は-C(O)-Y-C(O)O-M<sup>+</sup>であり、

eが、1～40の整数である、方法。

## 【請求項15】

前記接触させる工程が、吸尽、フォーム、フレックスニップ、ニップ、パッド、キスロール、ベック、摺、ウインチ、液噴射、オーバーフローラッド、ロール、はけ塗り、ローラー、スプレー、ディッピング、又は浸漬により生じる、請求項14に記載の方法。

## 【請求項16】

前記接触させる工程が、洗濯機内で生じる、請求項15に記載の方法。

## 【請求項17】

前記表面効果が、アイロンがけ不要、アイロンがけ容易性、収縮制御、しわ防止性、パーマントプレス、湿気制御、柔軟性、強度、スリップ防止、静電防止、伝線防止、毛玉防止、しみ除去、防汚性、汚れ除去、撥水性、臭気抑制、抗菌性、日焼け防止、及び洗浄性である、請求項14～16のいずれか一項に記載の方法。

## 【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0047

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0047】

SMA1000H溶液は、分子量M<sub>n</sub>=2,000Da及びM<sub>w</sub>=5,500Daを有する1:1スチレン:無水マレイン酸コポリマーの水性アンモニウム塩であり、SMA1000MAは、低分子量スチレン無水マレイン酸アミド酸樹脂であり、SMA1000HKはスチレン無水マレイン酸コポリマーの水性カリウム塩であり、SMA1440Hは、M<sub>n</sub>=2,900Da及びM<sub>w</sub>=7000Daを有するスチレン:無水マレイン酸コポリマーモノエステルの加水分解されたアンモニウム塩溶液であり、SMA1550Hはスチレン:無水マレイン酸コポリマーモノエステルの加水分解された溶液であり、SMA2000Hは、分子量M<sub>n</sub>=2,700Da及びM<sub>w</sub>=7,500Daを有す

40

50

る 2 : 1 スチレン : 無水マレイン酸コポリマーの水性アンモニウム塩であり、SMA 3000 H は、分子量  $M_n = 2,700 \text{ Da}$  及び  $M_w = 7,500 \text{ Da}$  を有する 3 : 1 スチレン : 無水マレイン酸コポリマーの水性アンモニウム塩であり、SMA 2625 H は、分子量  $M_n = 3,100 \text{ Da}$  及び  $M_w = 9,000 \text{ Da}$  を有するスチレン : 無水マレイン酸コポリマーモノエステルの加水分解されたアンモニウム塩溶液であり、SMA 17352 H は、分子量  $M_n = 2,900 \text{ Da}$  及び  $M_w = 7,000 \text{ Da}$  を有するスチレン : 無水マレイン酸コポリマーモノエステルの加水分解されたアンモニウム塩溶液であり、SMA 1000 HNa は、分子量  $M_n = 2,000 \text{ Da}$  及び  $M_w = 5,500 \text{ Da}$  を有するスチレン無水マレイン酸コポリマーの水性ナトリウム塩であり、全て TOTAL Cray Valley (Exton, PA) から入手可能である。

10

20

30

40

50